

会 員 各 位

公益社団法人全国老人保健施設協会
会 長 東 憲 太 郎
(公印省略)
管理運営委員会 担当副会長 本 間 達 也
管理運営委員会 委員長 山 野 雅 弘
管理運営委員会 在宅支援推進部会 部会長 櫛 橋 弘 喜

「平成29年度在宅支援・在宅復帰推進セミナー ～報酬改定を乗り越えていける老健になるためには～」開催のご案内

平素より当協会の運営・業務に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本セミナーは、老健施設が高齢者の方々の住み慣れた地域での生活を支え抜くために、在宅支援の取り組み事例や施設内体制づくりなどのノウハウを学ぶことを目的とした研修会となっております。在宅支援の取り組みを実践していく施設の方々は必見のセミナーです。参加ご希望の際は、全老健ホームページの全老健研修申込サイト(<http://training.zenroken.net/>)または FAX にてお申込み下さい。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開 催 日	平成 30 年 1 月 30 日(火)
会 場	東京都医師会館 〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台 2-5 電話: 03-3294-8821
定員・参加費	150 名 全老健会員及び会員施設職員 12,960 円、非会員 15,120 円(資料代・昼食代・消費税込) ※お弁当の持込みは不可のため、主催者側で昼食をご用意させていただきます。 ※各受講者に「介護老人保健施設 在宅支援推進マニュアル 総論・入所編」を配布いたします。
対 象 者	老健施設の運営責任者(法人役員・管理職・主任等含む)
お 申 込 方 法	申込方法: 全老健研修申込サイト http://training.zenroken.net/ からお申込頂くか、全老健ホームページ http://www.roken.or.jp/ から申込書をダウンロードし、東武トップツアーズ(株)に申込書を FAX にてお送りください。定員となり次第締切とさせていただきます。
参 加 券	研修会開催の約 1 週間前に東武トップツアーズ(株)より郵送させていただきます。
受講証書の発行	全講義を受講された方に全老健会長名の受講証書を交付いたします。遅刻早退等により全講義を受講されなかった場合、受講証書の交付は致しかねます。
そ の 他	カリキュラムの詳細は予告無く変更することがありますのでご了承ください。
主催及び申込先	主催: 公益社団法人全国老人保健施設協会 (電話: 03-3432-4165 FAX: 03-3432-4172 HP: http://www.roken.or.jp) 申込先: 東武トップツアーズ(株)東京国際事業部新宿支店 * 営業時間 9:30~18:30(月~金)土・日・祝/休業(電話: 03-5348-3897 FAX: 03-5348-3799) * お申込者の個人情報、お客様との連絡や、サービスの受領のために必要な範囲内で利用させていただきます。

【カリキュラム】

時間	講義内容	講 師
10:30	開講挨拶	全国老人保健施設協会
10:30~11:00	報酬改定を踏まえた在宅支援・在宅復帰	全国老人保健施設協会 副会長 本間 達也
11:10~12:00	在宅支援を目指す施設の心構え	ひかり老人保健施設 医師 村木 寛茂
12:00~12:45		昼休憩
12:45~14:20	【シンポジウム】地域差を考える ①地方の老健施設で在宅支援をし続けて ②在宅支援につながる地域づくり ③東京 23 区内における老健施設の現状	座長: 全老健 管理運営委員長 山野 雅弘 シンポジスト: ①老人保健施設ちょうろく 理事長 浦田 哲郎 ②介護老人保健施設青翔苑 理事長 金澤 知徳 ③介護老人保健施設安寿 理事長 中本 譲
14:30~17:00	【シンポジウム】在宅支援・在宅復帰に向けて ①在宅強化型を目指すための土台 ~施設職員の意識改革(モチベーション向上と質の向上)~ ②相談業務の強化・支援相談員の役割 ~家族とのコミュニケーション・ネットワークの構築~ ③在宅支援施設を目指す老健施設の課題 ~ベッドコントロール(稼働率の確保)~ ④在宅支援・在宅復帰推進のための多職種協働によるリハビリテーション	座長: 全老健 在宅支援推進部会長 櫛橋 弘喜 シンポジスト: ①生愛会生活期総合リハビリテーション 医療ケアセンター 副センター長 伊藤 健博 ②介護老人保健施設紀伊の里 支援相談員 藤井 彰彦 ③介護老人保健施設いこいの森 支援相談員 川原田 千枝 ④介護老人保健施設清雅苑 副施設長 野尻 晋一